

永平寺町学校のあり方に関するアンケート調査 (幼稚園・幼稚園保護者用)

調査ご協力をお願い

日ごろから、町教育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

近年、永平寺町では、少子化に伴い、地域差はあるものの、少しずつ各学校の小規模化が進んでいます。少子高齢化や高度情報化など、社会情勢の変化が教育環境にもさまざまな影響を及ぼすことが全国的に懸念されている中、町では、将来にわたって質の高い教育を維持するため、「永平寺町学校のあり方検討委員会」を設立し、永平寺町内の小中学校のあり方について、(1)望ましい教育環境のあり方、(2)地域と連携した学校づくりのあり方、の2つの事項を諮問し、答申をまとめていただくこととしました。

このアンケートは、「これからの永平寺町の学校教育がどうあってほしいか」などについて、保護者のみなさまのご意見を広くお聞きし、答申をまとめる際の参考とさせていただくものであり、小中学校の再編を前提に実施するものではありません。

回答はすべて統計的に処理し、上記目的以外に使用することはありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年1月 永平寺町

【ご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、幼稚園・幼稚園に通うお子様の保護者を対象にお送りしています。
2. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なります。注意書きに従ってください。
3. お子さんが小学生になられた場合、中学生になられた場合を想定してご記入ください。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、
それぞれの幼稚園・幼稚園へ2月19日(金)までにご提出ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

◆調査に関するお問い合わせ先◆
永平寺町教育委員会 学校教育課
電話：0776-61-3937 FAX：0776-61-3938



問4 保護者として子どもたちと地域との関わりについて期待することは何ですか？あてはまる番号3つに○をつけてください。（保護者、先生などへのサポートを含む）

※3～8は授業の中で行うことを想定しています。

1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること
2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること
3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること
4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること
5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること
6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれること
7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること
8. 地域の方がPTA活動への協力の依頼があれば参加してくれること
9. 町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な深い学び」を推進すること
10. 町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと
11. 学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加すること
12. 子どもたちが地域の特色や課題について協働探究を長期にわたり実践すること
13. 子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること
14. 子どもたちが地域の自然、歴史、文化などについて学び続け、地域に発信すること
15. 子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手として積極的に参加すること
16. 特になし

問4-1 子どもたちが、地域の特色や課題について探究し、学びあうために、永平寺町としてどのような取組が必要か、アイデアがあれば、ご記入ください。

問5 これからの教育においては、「主体的で対話的で深い学び」が求められ、そのためには、多様な話し合い活動が欠かせません。

そこで、子どもたちのよりよい成長、発達のためには、一定の人数が必要であることから、廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

※廃校…設置者から廃止の届出があった公立の小中学校のこと

休校…廃止の届出はないものの、児童・生徒が在籍しておらず、学級数が0の公立の小中学校のこと

1. いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい
2. ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う
3. 小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない
4. その他の意見

問5-1 問5で「4. その他の意見」を選んだ方は、自由にご意見をご記入ください。

【小学校別の児童数の将来推計について】

小学校全体

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	67	72	139	69	64	133	58	60	118	56	56	112
2年	78	83	161	54	55	109	60	62	122	57	57	114
3年	82	86	168	74	70	144	62	62	124	57	59	116
4年	87	71	158	72	76	148	53	73	126	57	60	117
5年	88	88	176	70	73	143	64	68	132	58	61	119
6年	84	77	161	79	84	163	71	65	136	58	61	119
計	486	477	963	418	422	840	368	390	758	343	354	697

永平寺町の小学生全体では、平成31年度（令和元年度）に比べ令和15年度では**27%減少**することが予想されています。

松岡小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	21	29	50	28	32	60	31	33	64	30	32	62
2年	23	39	62	26	35	61	31	34	65	30	33	63
3年	29	36	65	32	31	63	31	34	65	30	33	63
4年	34	28	62	34	27	61	31	43	74	30	34	64
5年	32	26	58	21	30	51	33	39	72	31	34	65
6年	39	33	72	23	41	64	28	33	61	31	34	65
計	178	191	369	164	196	360	185	216	401	182	200	382

吉野小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	9	6	15	7	5	12	5	4	9	5	4	9
2年	5	5	10	5	2	7	5	4	9	5	4	9
3年	9	12	21	5	6	11	6	4	10	5	4	9
4年	6	7	13	5	3	8	2	4	6	5	4	9
5年	10	11	21	9	6	15	5	2	7	5	4	9
6年	5	9	14	5	5	10	7	5	12	5	4	9
計	44	50	94	36	27	63	30	23	53	30	24	54

御陵小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	11	8	19	9	7	16	8	7	15	8	6	14
2年	10	7	17	8	5	13	8	7	15	8	6	14
3年	10	9	19	7	11	18	8	7	15	8	6	14
4年	10	12	22	9	10	19	8	5	13	8	6	14
5年	2	11	13	11	8	19	10	5	15	8	7	15
6年	12	10	22	10	7	17	9	7	16	8	7	15
計	55	57	112	54	48	102	51	38	89	48	38	86

志比小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	8	8	16	9	7	16	4	6	10	4	5	9
2年	13	16	29	4	3	7	5	7	12	4	5	9
3年	11	12	23	12	7	19	5	7	12	4	6	10
4年	14	6	20	5	12	17	7	9	16	4	6	10
5年	17	17	34	8	8	16	2	7	9	4	6	10
6年	10	14	24	13	15	28	9	7	16	4	6	10
計	73	73	146	51	52	103	32	43	75	24	34	58

志比南小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	10	5	15	3	5	8	3	2	5	3	2	5
2年	10	4	14	7	3	10	3	2	5	3	2	5
3年	8	7	15	4	5	9	4	2	6	3	2	5
4年	5	5	10	9	7	16	1	0	1	3	2	5
5年	12	9	21	11	5	16	7	4	11	3	2	5
6年	7	5	12	11	4	15	3	5	8	3	2	5
計	52	35	87	45	29	74	21	15	36	18	12	30

志比北小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	4	2	6	4	1	5	1	1	2	1	1	2
2年	3	0	3	1	0	1	1	1	2	1	1	2
3年	4	3	7	2	2	4	1	1	2	1	1	2
4年	3	3	6	5	3	8	2	1	3	1	1	2
5年	3	5	8	6	2	8	0	1	1	1	1	2
6年	2	1	3	4	0	4	6	1	7	1	1	2
計	19	14	33	22	8	30	11	6	17	6	6	12

上志比小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	4	14	18	9	7	16	6	7	13	5	6	11
2年	14	12	26	3	7	10	7	7	14	6	6	12
3年	11	7	18	12	8	20	7	7	14	6	7	13
4年	15	10	25	5	14	19	2	11	13	6	7	13
5年	12	9	21	4	14	18	7	10	17	6	7	13
6年	9	5	14	13	12	25	9	7	16	6	7	13
計	65	57	122	46	62	108	38	49	87	35	40	75

【推計方法】

住民基本台帳（平成31年4月1日時点）を使用したコーホート変化率法（小学校区別を合計して算出）

※他の学区に通学している児童がいるため、平成31年度の児童数の実数と推計値には差があります。

問6 将来的に児童数が減少した際に、町の対応として希望することに関して、項目ごとにあてはまる番号 1つ に○をつけてください。

項 目	希望する	やや希望	どちらでもない	あまり希望しない	希望しない
①学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする	1	2	3	4	5
②町内の小学校間交流・学習連携を盛んにする	1	2	3	4	5
③小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする（ICTの活用を含む）	1	2	3	4	5
④複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の専門教科の授業を担当することでつながりを盛んにする	1	2	3	4	5
⑤複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設（プールなど）を相互に活用することでつながりを盛んにする	1	2	3	4	5
⑥他市町村の学校や他の地域との交流・学習を盛んにする（ICTの活用含む）	1	2	3	4	5
⑦海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする（ICTの活用含む）	1	2	3	4	5

問6-1 問6の項目以外で希望することがあれば、ご記入ください。

学習において、話し合い活動が重視されており、子どもたちは2人のペア学習、3～4人で行う実験や実習、もっと多くの人数で行うディベート学習などを通じ、他者との学び合いを深め、成長していきます。

また、スポーツにおいても、一定の人数がいると、体験できる集団スポーツも増えます。

このように、子どもたちのためによりよい教育環境を総合的に考える際、1学年・1学級の人数は重要な項目となります。

問7 1学級の児童数・1学年の児童数について、あなたが最低限必要だと思う人数を、それぞれご記入ください。

1学級 最低 () 人	1学年 最低 () 人
-----------------------------------	-----------------------------------

問7-1 その理由をご記入ください。

現在、国では、公立の小学校を対象に1学級の上限人数を40人から35人とする「少人数学級」の導入の動きが進められています。

既に福井県では、小学校の1学級の上限人数を35人と定め、少人数教育を推進しています。

問7-2 1学級の児童数・1学年の児童数について、あなたが適正だと思う人数を、それぞれご記入ください。

1学級	(~)人	1学年	(~)人
-----	---	---	----	-----	---	---	----

問7-3 その理由をご記入ください。

問8 もしも、将来、お子様が通学する予定の小学校が統合され、廃校、休校となった場合、あなたはどのようにしますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※ 通学手段は確保されているものとします。

1. 今まで通り住み続ける	2. 町内の学校の近くに転居する
3. 町外の学校の近くに転居する	4. どうするかわからない

問8-1 問8について、自由にご意見をご記入ください。

中学校についてお聞きします。

問9 中学校でも基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程の改善を行っています。その他に、保護者として中学校教育で重要視していることは何ですか？あてはまる番号3つに○をつけてください。

1. 社会のマナーやルールを身につけること
2. 確かな学力を身につけること
3. 自己肯定感を高めること
4. 環境や平和の大切さについて学ぶこと
5. 自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと
6. 他校との交流を深めること
7. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること
8. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身につけること
9. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること
10. 慈しみの心を育てるなど、道徳心を身につけること
11. どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること
12. 少人数で安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること
13. ICT教育の環境を整備して、プログラミング教育やオンライン方式の学習などの情報教育（メディアリテラシー教育や情報モラルに関する指導を含む）の推進を図ること
14. 外国の人との交流を通して多様性を学び、コミュニケーション力を高めるとともに、日本の文化のすばらしさについても理解すること
15. 校舎、教室の設備の充実、図書室の機能強化（新聞の閲覧、図書の充実、パソコン環境の整備など）が図られていること
16. 人権感覚を高め、他人への思いやりの心を持つこと
17. 部活動を通して豊かな経験をし、成長すること

問9-1 問9の項目以外で重要視していることがあれば、ご記入ください。

問10 保護者として、子どもたちと地域との関わりについて期待することは、何ですか？
あてはまる番号 3つ に○をつけてください。(保護者、先生などへのサポートを含む)
※3～8は授業の中で行うことを想定しています。

1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること
2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること
3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習支援してくれること
4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること
5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること
6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれること
7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること
8. 地域の方がPTA活動への協力の依頼があれば参加してくれること
9. 町が地域の大学との連携を深めて、「主体的で対話的な深い学び」を推進すること
10. 町が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと
11. 学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動に参加すること
12. 子どもたちが地域の特色や課題について協働探究を長期にわたり実践すること
13. 子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること
14. 子どもたちが地域の自然、歴史、文化などについて学び続け、地域に発信すること
15. 子どもたちが地域の伝統的な行事や活動に、担い手として積極的に参加すること
16. 特になし

問 10-1 子どもたちが、地域の特色や課題について探究し、学びあうために、永平寺町としてどのような取組が必要か、アイデアがあれば、ご記入ください。

問 11 もしも、将来、お子様が通学する予定の中学校が統合され、廃校、休校となった場合、あなたはどのようにしますか。あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 今まで通り住み続ける | 2. 町内の学校の近くに転居する |
| 3. 町外の学校の近くに転居する | 4. どうするかわからない |

問 11-1 **問 11** について、自由にご意見をご記入ください。

問 12 これからの教育においては、「主体的で対話的で深い学び」が求められ、そのためには、多様な話し合い活動が欠かせません。

そこで、子どもたちのよりよい成長、発達のためには、一定の人数が必要であることから、廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて、あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい
2. ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う
3. 中学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない
4. その他の意見

問 12-1 問 12 で「4. その他の意見」を選んだ方は、自由にご意見をご記入ください。

【中学校別の生徒数の将来推計について】

中学校全体

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	84	83	167	83	88	171	56	55	111	61	62	123
2年	85	96	181	90	70	160	75	69	144	64	62	126
3年	96	83	179	90	90	180	74	76	150	55	73	128
計	265	262	527	263	248	511	205	200	405	180	197	377

永平寺町の中学生全体では、平成31年度（令和元年度）に比べ令和15年度では**28%減少**することが予想されています。

松岡中学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	44	51	95	49	58	107	40	42	82	45	45	90
2年	51	59	110	52	46	98	46	47	93	47	45	92
3年	54	45	99	46	48	94	50	39	89	43	52	95
計	149	155	304	147	152	299	136	128	264	135	142	277

永平寺中学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	27	17	44	24	23	47	13	6	19	9	10	19
2年	28	23	51	22	14	36	18	14	32	10	10	20
3年	34	26	60	32	33	65	19	23	42	10	10	20
計	89	66	155	78	70	148	50	43	93	29	30	59

上志比中学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	13	15	28	10	7	17	3	7	10	7	7	14
2年	6	14	20	16	10	26	11	8	19	7	7	14
3年	8	12	20	12	9	21	5	14	19	2	11	13
計	27	41	68	38	26	64	19	29	48	16	25	41

【推計方法】

住民基本台帳（平成31年4月1日時点）を使用したコーホート変化率法（小学校区別を合計して算出）

※他の学区に通学している生徒がいるため、平成31年度の生徒数の実数と推計値には差があります。

問13 将来的に生徒数が減少した際に、町の対応として希望することに関して、項目ごとにあてはまる番号 1つ に○をつけてください。

項 目	希望する	やや希望	どちらでもない	あまり希望しない	希望しない
①学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする	1	2	3	4	5
②町内の中学校間交流・学習連携を盛んにする	1	2	3	4	5
③小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする（ICTの活用を含む）	1	2	3	4	5
④複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の専門教科の授業を担当することでつながりを盛んにする	1	2	3	4	5
⑤複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設（プールなど）を相互に活用することでつながりを盛んにする	1	2	3	4	5
⑥他市町村の学校や他の地域との交流・学習を盛んにする（ICTの活用含む）	1	2	3	4	5
⑦海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする（ICTの活用含む）	1	2	3	4	5

問 13- 1 問 13 の項目以外で希望することがあれば、ご記入ください。

学習において、話し合い活動が重視されており、子どもたちは2人のペア学習、3～4人で行う実験や実習、もっと多くの人数で行うディベート学習などを通じ、他者との学び合いを深め、成長していきます。

また、スポーツにおいても、一定の人数がいると、体験できる集団スポーツも増えます。

このように、子どもたちのためによりよい教育環境を総合的に考える際、1学年・1学級の人数は重要な項目となります。

問14 1学級の生徒数・1学年の生徒数について、あなたが**最低限必要だ**と思う人数を、**それぞれ**ご記入ください。

1学級 最低 () 人	1学年 最低 () 人
---------------------------------	---------------------------------

問14- 1 その理由をご記入ください。

現在、国では、中学生を対象とした少人数教育の実施に向け、1学級の上限人数を40人から減少していくことを検討しています。

既に福井県では、中学校の1学級の上限を32人と定め、少人数教育を推進しています。

問14-2 1学級の生徒数・1学年の生徒数について、あなたが適正だと思う人数を、それぞれご記入ください。

1学級	(～)人	1学年	(～)人
-----	---	---	----	-----	---	---	----

問14-3 その理由をご記入ください。

問15 もしも、今、子どもたちが通学している中学校が統合され、廃校、休校となった場合、あなたはどうしますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※通学手段は確保されているものとします

1. 今まで通り住み続ける	2. 町内の学校の近くに転居する
3. 町外の学校の近くに転居する	4. どうするかわからない

問15-1 問15について、自由にご意見をご記入ください。

問16 コロナ禍の中の学校教育に対して、どのようなことを希望されますか。ご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。

 ----- ----- ----- -----
--

問17 最後に、学校教育全般に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

 ----- ----- ----- -----
--

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、

それぞれの幼稚園・幼稚園へ2月19日（金）までにご提出ください。